

特定非営利活動法人 共同保存図書館・多摩

〔役員〕

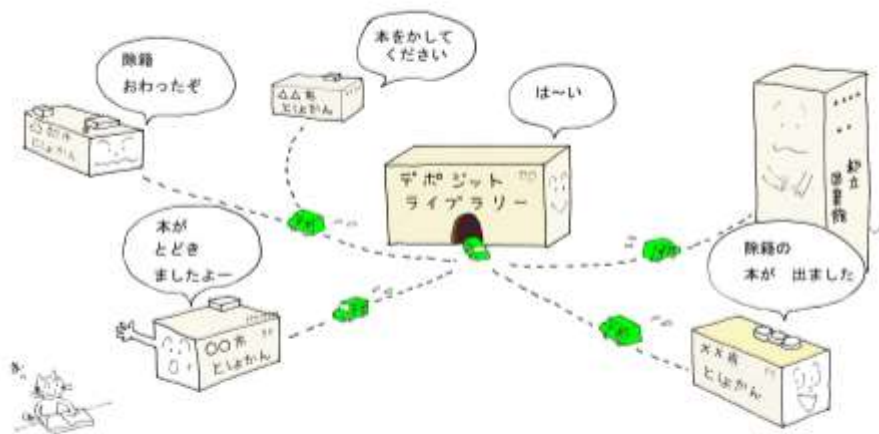
理事長	座間直壯	顧問	津野海太郎
副理事長	清田義昭		
理事	齊藤誠一	理事	保坂一房
理事	田中ヒロ	理事	堀渡
理事	手嶋孝典	理事	堀越洋一郎
理事	中川恭一		
監事	浴靖子	監事	山崎明子

〔年会費〕

- ・正会員（個人・団体） 5,000円
- ・賛助会員（個人・団体） 1口2,000円
（個人1口以上、団体5口以上）

☆会員募集中☆

いつまでも快適に本が読める共同保存図書館の実現に向かって、一緒に活動を進めましょう！



本を生かそう 保存し活用しつづけよう そのために 智恵をだしあおう

特定非営利活動法人 共同保存図書館・多摩 Tama Deposit Library

目的（定款から）

第3条

この法人は、広く一般市民を対象として、行政や企業等との協働のもとに、市町村立図書館等が除籍する資料、個人団体などが手放す資料等の収集・整理事業、再活用事業、貸出等による提供事業を行い、広域的な共同保存図書館活動を、普及展開することで、必要な情報を誰もが容易に得ることができるような社会づくりに寄与することを目的とする。

〔事務局〕

〒182-0011 調布市深大寺北町1-31-18
E-mail depo_tama@yahoo.co.jp
郵便振替口座 00180-5-726583
NPO法人共同保存図書館・多摩

*フリガナ→トクヒ) キョウドウホソントシヨカンタマ

HP <https://www.tamadepo.org>



共同保存図書館実現に向かったの日常活動

◆現状の分析と提案◆

- 私達の「多摩発・共同保存図書館基本構想」の普及啓発
- 東京都や市町村立図書館長協議会への意見具申
- 都立や国会図書館の資料保存やデジタル化等の動きの分析
- 共同保存図書館構想の研究・開発・実用化

講座・講演会

市民と職員が資料の利用と保存を考え、語り合う「多摩デポ講座」

現役の職員に役立つ業務の課題を学び交流する「多摩デポ実践講座」

図書館資料の里親探し

手放す資料と補充したい資料の譲渡の橋渡し



TAMALAS (多摩地域公共図書館蔵書確認システム) の提供・運用援助
個別資料の所蔵確認から数十万冊の一括確認まで対応

「多摩デポ通信」の発行・メーリングリスト運用
共同保存をめぐる活動や研究の報告、会員間の情報交換の場

多摩デポブックレット
多摩デポ講座・講演会から生まれた本です
価格は本体価格
発売・けやき出版 デポ事務所へのご注文も可

No.1	公共図書館と協力保存	—利用を継続して保証するために—	安江明夫	2009.5	600円	残部僅少
No.2	地域資料の収集と保存	—たましん地域文化財団歴史資料室の場合—	保坂一房	2009.9	600円	残部なし
No.3	地図・場所・記憶	—地域資料としての地図をめぐって—	芳賀 啓	2010.5	600円	残部僅少
No.4	現在を生きる地域資料	—利用する側・提供する側—	平山恵三 蛭田廣一	2010.11	600円	
No.5	図書館のこと、保存のこと		竹内 愼 梅澤幸平	2011.5	700円	
No.6	図書館の電子化と無料原則		津野海太郎	2011.10	600円	
No.7	多摩を歩いて三七年半	～街、人、暮らし、そして図書館	山田優子	2012.5	600円	
No.8	被災資料救助から考える資料保存	—東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心に—	青木 睦	2013.11	600円	
No.9	電子書籍の特性と図書館		堀越洋一郎	2013.11	600円	
No.10	図書館の連携協力の基盤整備に向けて	—図書館を支える制度の不備と「図書館連合」の提案—	松岡 要	2015.1	600円	
No.11	書物の時間	—書店店長の想いと行動—	福嶋 聡	2017.8	600円	
No.12	図書館の「捨てるが残す」への期待と不安	—出版産業の危機の中で／書き手として、利用者として—	永江 朗	2018.10	600円	
No.13	図書館計画で書庫はどう考えたらいいのか？	—いくつかの街の図書館づくりに参画して学んだこと—	寺田芳朗	2019.3	600円	
No.14	図書館づくりの現況から「保存」を考える		塩見 昇	2019.7	800円	
No.15	『市民の図書館』の資料保存問題		山口源治郎	2021.4	800円	

…… これまでのあゆみ……

- 2001.7 都教委「東京都立図書館あり方検討委員会」設置
「中間のまとめ」発表→ 都立図書館の縮小再編計画開始
- 2002.1-3 都立多摩図書館、都立中央との重複資料 14万冊一括除籍
- 2002.7 「多摩地域の図書館をむすび育てる会（略称：多摩むすび）」発足
- 2003.12 『東京にデポジット・ライブラリーを！』ポット出版 発行
- 2006.5 「NPO 共同保存図書館・多摩」任意団体で発足
- 2007.1 機関紙『多摩デポ通信』創刊（以後年4回発行）
- 2008.4 「NPO 法人共同保存図書館・多摩」発足
- 2008.7 図書館資料の里親探し事業開始
- 2008.9 「多摩デポ講座」第1回開催（以後、ほぼ年3回開催）
- 2009.5 多摩デポブックレット刊行開始
- 2009.11 日野市立図書館廃棄予定資料横断検索ボランティア（以後、数市で実施）
- 2011 日本図書館協会の東日本大震災被災図書館支援活動に協力
～2018（資料救済支援など）
- 2013.12 (株)カーリルとバーチャル共同保存図書館構想の研究開始
- 2014.11 第100回全国図書館大会 公募型分科会の企画に応募、運営
- 2016.～ 「多摩地域公共図書館蔵書確認システム」(=TAMALAS)稼働
- 2016.5 TAMALAS 個別処理システムHPで公開
- 2018.7 TAMALAS 一括処理システム(多摩地域図書館限定で提供)利用申請受付開始
- 2021 TAMALAS で、書庫資料データの大量一括点検（府中市約53万冊）に協力
- 2022.4 TAMALAS の検索対象に、たましん地域文化財団歴史資料室を追加